

学位論文審査の要旨

学位申請者	濱崎 タマエ【論文博士】 【人間発達科学専攻 平成21年度生】 (平成27年3月31日単位修得退学)	要 旨
論文題目	授業空間としてのホームの発見と可能性 —小学校家庭科における実践記録再読を通して—	<p>濱崎氏の博士論文審査会は、平成28年1月28日に第一回を開催した。提出された論文は、90年代から現在に至る自身の小学校家庭科の授業に関する実践記録の再読とこれらの実践関係者へのインタビューを検討対象として、社会理論に関する幅広い知見と、実践記録についての深い省察によって現代の学校教育の問題の核心に迫るものとなっているという評価を受けた。特に、濱崎氏の、授業をホーム概念によって分析しようとする視点は、濱崎氏がホームと位置付けるものが従来の教室ではなく、それが授業である点で、新しい知見を見いだすものとして高く評価された。しかし、論文において、社会理論に関する分析が不十分な点や、また、関係者インタビューの位置付けや取り扱いの問題点に関する指摘を受け、さらに、修正することが求められた。</p> <p>第二回審査会は、平成28年6月3日に開催された。第二回審査会では、論文の全体像と修正点について、濱崎氏からプレゼンテーションがなされた。プレゼンテーションを踏まえて、審査委員から論文について、コメントが述べられたが、概ね適切に修正がなされているとして、公開審査をすることが妥当であると評価された。なお、論文題目については、「小学校家庭科」の教育実践であることが明記されることが望ましいとの指摘を受け、この点を修正することが求められた。</p> <p>公開審査は、6月24日に実施された。濱崎氏の実践内容を含めた論文全体についてのプレゼンテーションがなされ、参加者からの質疑が行われた。</p> <p>公開審査の後、最終審査会が開催された。最終審査会では、濱崎氏の論文のプレゼンテーションと、質疑の際の回答が適切であること、日本の教育実践研究の発展への貢献が期待されるものとして、博士（社会科学）、Ph. D. in Pedagogy にふさわしい論文であると評価された。</p>
審査委員	(主査) 教授 小玉 亮子	
	教授 浜口 順子	
	准教授 富士原 紀絵	
	教授 池田 全之 東京大学大学院 教育学研究科 教授 小国 喜弘	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（ 否 ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	